

三島地域委員会第 1 分科会のまとめ

「安心・安全・快適な住みよい三島地域をめざして」

第 1 分科会では、「住みよい三島地域」を目指すために、どのような取り組みを考えていくべきか、日ごろ感じている様々な事柄を話し合い提言をまとめました。

1 歩行者の安全確保について

近年、地域内の死亡事故の発生により、三島地域の歩道整備の推進が求められています。小中学生の通学路や子どもに限らず冬期間の歩道除雪などの安全確保、また夜間は明るい歩道になるように街路灯や防犯灯の整備も見直す必要があります。交通事故防止に向けて、危険と思われる箇所については、私たち地域住民と交通安全協会や町内会活動との連携による検討を求めます。

2 将来の公共交通のあり方について

はなみずき団地内の人口増加や三島支所及びみしまコミュニティセンターへの利便性など、生活交通ニーズの変化に対応することが必要です。長岡市中心市街地への利用を勘案したなかで、路線変更や団地内のバス停設置など利用しやすい公共交通のあり方について検討を始めることが必要です。

3 地域資源の発信について

三島地域資源は従来の歴史や文化の他、里山など自然資源も含めた魅力ある宝がたくさんあります。全日本丸太早切選手権大会、西山連峰登山マラソン大会や越後みしま竹あかり街道など三島独自のイベントを活かした地域内外との交流を活性化するために、地域全体の発信力を高めていくことも必要です。

4 里山再生エネルギー資源について

当市の生ごみバイオガス化施設の本格稼働の取り組みにもあるように、再生可能エネルギーの活用が推進されることから、地域の豊富な山林資源も新たなエネルギー源として有効な利活用を考えていく必要があります。

まとめ

住みよい三島地域になるためには、みしまコミュニティセンターを中心とし、町内会ごとにある住民自治を育みながら交通安全や防犯、自然や伝統文化に根ざしたコミュニティ活動に取り組む団体と連携しながら、活動団体の自主性を尊重したみしまコミュニティの推進を求めます。しかしながら、安心・安全・快適に暮らせるための防災対策や環境整備に取り組むことが第一に求められます。そして、地域ごとの課題は多様化しており、町内会単位での個別の要望では限界があることから、今後も安全確保のために官民一体となった課題の解決に継続して取り組むことを求めます。